

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年11月12日
【事業年度】	第118期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）
【会社名】	株式会社ニッキ
【英訳名】	NIKKI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 和田 孝
【本店の所在の場所】	神奈川県厚木市上依知3029番地
【電話番号】	046(285)0228
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 田中 宣夫
【最寄りの連絡場所】	神奈川県厚木市上依知3029番地
【電話番号】	046(285)0228
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 田中 宣夫
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年6月26日に提出した第118期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項があったため、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものである。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

4 事業等のリスク

7 財政状態及び経営成績の分析

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示している。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

4【事業等のリスク】

(訂正前)

(1) 事業展開について

当社グループは平成19年3月期連結会計年度の営業損失が1億5千2百万円、平成20年3月期連結会計年度の営業損失が12億2千4百万円、平成21年3月期連結会計年度の営業損失が4億9千4百万円となり、3期連続の営業損失となり、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる兆候が存在しているが、当社グループとしては、これまで実施してきた事業構造改革を継続進展させ、人員のスリム化、設備投資の見直し、子会社・国内拠点の整理統合等徹底したコスト削減を着実に実行することで更なる固定費の削減を図るとともに、事業の選択と集中を行い、ガス機器事業を中心とした新興国向け売り上げを増強し、収益構造の改善を図る。

これまで実施してきた施策

イ．従業員数の削減

生産性を向上させ、固定費を削減するため、単体ベースであるが、平成18年9月末で553名（うち正社員372名）の従業員数を平成21年3月末には350名（うち正社員307名）まで削減した。

ロ．役員報酬の削減

役員報酬については平成19年7月より15%、平成19年10月より20%、平成20年5月より25%の役員報酬を削減し、現在も継続している。

ハ．管理職給与の削減

管理職給与については平成19年7月より10%、平成19年10月より15%、平成20年5月より20%の管理職給与を削減し、現在も継続している。

こうした施策により単体ベースでは平成18年度に32億3千7百万円であった人件費は平成20年度では24億6千8百万円まで削減した。

ニ．経費削減

人件費以外の経費の節減も徹底的に実施し、平成18年度上期に5億6千9百万円であった経費は平成20年下期では4億5千1百万円まで削減した。

ホ．材料費削減

購買先および購買方法の見直しにより、平成18年度の材料比率57.2%を平成20年下期には55.2%まで低減させた。

ヘ．子会社の移転、統合

東京都板橋区にあった当社の自動車機器及びガス機器を販売している連結子会社(株)日気サービスを当社の本社の所在する神奈川県厚木市に移転し、当社ガス自動車用燃料供給システムの販売及び開発をしている(株)ニッキ ソルテックと統合（合併）し業務の効率化を実施した。また、連結子会社ニッキ・テクノ(株)においては神奈川県座間市相武台にて生産活動の一部を実施していたが、これを当社の本社の所在する神奈川県厚木市に移転し、業務の効率化を実施した。

ト．製品別採算見直しによる販売価格の改定

製品別採算を継続的に見直し、販売価格の改定を実施した。

チ．生産性の向上

分散していた製造ラインの集中・集約によるラインの短縮化を実施し、また物流ラインの見直しを実施することにより生産性の向上に努めた。

今後の施策

イ．基本方針

上記に掲げる事業構造転換に向けたインフラ整備の施策を継続するとともに、収益性・成長性を重視した事業の選択と集中による事業構造改革につなげ、長期的・安定的な収益基盤の構築を図るとともに、これを推進する社内体制を整備・確立していく。

ロ．戦略的事業部門別展開

ガス機器事業については、ガス市場がガソリン代替市場と位置付けられるため、原油価格の高騰および環境意識の高まりから、今後も成長性の高い事業分野であると考えている。また、当社はガス燃料噴射機器、燃料電子制御装置等全体システムを供給できるため他社との競争上も優位にある事業分野と考えている。今後は特に新興国市場等において成長性が大きく見込まれるため、アジア市場を中心とした海外NGV（天然ガス自動車）市場において提携も含めた参入を積極的に進めていく。

汎用機器（小型エンジン用気化器）事業については、米国市場（芝刈り機、発電機等）を睨んだ事業であり、当面市場の成長性は低下あるいは鈍化することが予想されるため、採算性を重視した事業展開を実施していく。ただし、中期的に燃料噴射化への動きも予想されるため、燃料噴射化への対応を強化するとともに、子会社の統廃合による生産分担の最適化をすすめコストミニマム化を徹底していく。

自動車機器（主として自動車用気化器）事業については、今後の成長性は見込みにくいいため現状の採算性を確保しつつ、製品の統廃合を進めていく。

ハ．更なる収益確保・採算改善

・子会社の統廃合

汎用気化器を生産していた当社連結子会社田島精密工業㈱の生産活動を平成21年9月を目途に終了し、生産品を当社連結子会社瀋陽日新気化器有限公司及び当社本社工場に移転・集約する。これにより製造部門の売上比約3.9%の収益改善を目指していく。

・製品別採算見直し

製品別採算の管理・見直しを更に強化し不採算製品については廃止も含めた整理統合を促進していく。これにより製造部門の売上比約1.6%の収益改善を目指していく。

・設備費用の抑制

当面は選別的な設備投資を実施し、また設備購入金額の引き下げに努め、減価償却費の削減を図る。これにより製造部門の売上比約1.0%の収益改善を目指していく。

・VE/V A活動

購買先、購買方法の見直しによるコストダウンだけでなく、開発・設計段階まで遡ったVE/V A活動を強化し、より一層のコストダウンの徹底を図る。

ニ．品質向上

事業の構造変化に対応した管理項目の見直し、不具合検出力の再点検及び予防措置の徹底を図るとともに、上流である開発・設計段階からの「生産前品質保証活動」を更に強化・徹底していく。

ホ．組織・体制の整備

・収益性を重視した生産分担の最適化及び関係子会社の事業分担の見直しを実施していく。

・事業部門別組織の検討および部署別機能の見直しを進め、効率的な組織と事業別組織力の強化を実現していく。

・新人事制度の早期定着を図り、施策の実現力を担保するとともに、人材の強化・育成を確実に推進していく。

以上の対応・施策を迅速かつ着実に実施し、平成21年5月15日に公表した中期経営計画のとおり平成23年3月期には営業黒字を達成する予定である。

<参考> 中期経営計画の計数目標(連結)

(単位:百万円)

	平成20年度 (実績)	平成21年度 (目標)	平成22年度 (目標)	平成23年度 (目標)
売上高	8,972	7,800	10,100	10,700
営業損益	494	270	280	320
経常損益	437	250	360	400

(2) ~ (6) 省略

(訂正後)

(1) 経営に重要な影響を及ぼす事象

当社グループは平成19年3月期連結会計年度の営業損失が1億5千2百万円、平成20年3月期連結会計年度の営業損失が12億2千4百万円、平成21年3月期連結会計年度の営業損失が4億9千4百万円となり、3期連続の営業損失となり、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる兆候が存在している。

(2) ~ (6) 省略

7【財政状態及び経営成績の分析】

(訂正前)

(1)～(3)省略

(訂正後)

(1)～(3)省略

(4)事業展開について

経営に重要な影響を及ぼす事象については、事業等のリスクに記載のとおりであるが、これらを改善するために、当社グループとしては、これまで実施してきた事業構造改革を継続進展させ、人員のスリム化、設備投資の見直し、子会社・国内拠点の整理統合等徹底したコスト削減を着実に実行することで更なる固定費の削減を図るとともに、事業の選択と集中を行い、ガス機器事業を中心とした新興国向け売り上げを増強し、収益構造の改善を図る。

これまで実施してきた施策

イ．従業員数の削減

生産性を向上させ、固定費を削減するため、単体ベースであるが、平成18年9月末で553名（うち正社員372名）の従業員数を平成21年3月末には350名（うち正社員307名）まで削減した。

ロ．役員報酬の削減

役員報酬については平成19年7月より15%、平成19年10月より20%、平成20年5月より25%の役員報酬を削減し、現在も継続している。

ハ．管理職給与の削減

管理職給与については平成19年7月より10%、平成19年10月より15%、平成20年5月より20%の管理職給与を削減し、現在も継続している。

こうした施策により単体ベースでは平成18年度に32億3千7百万円であった人件費は平成20年度では24億6千8百万円まで削減した。

ニ．経費削減

人件費以外の経費の節減も徹底的に実施し、平成18年度上期に5億6千9百万円であった経費は平成20年下期では4億5千1百万円まで削減した。

ホ．材料費削減

購買先および購買方法の見直しにより、平成18年度の材料比率57.2%を平成20年下期には55.2%まで低減させた。

ヘ．子会社の移転・統合

東京都板橋区にあった当社の自動車機器及びガス機器を販売している連結子会社(株)日気サービスを当社の本社の所在する神奈川県厚木市に移転し、当社ガス自動車用燃料供給システムの販売及び開発をしている(株)ニッキ ソルテックと統合（合併）し業務の効率化を実施した。また、連結子会社ニッキ・テクノ(株)においては神奈川県座間市相武台にて生産活動の一部を実施していたが、これを当社の本社の所在する神奈川県厚木市に移転し、業務の効率化を実施した。

ト．製品別採算見直しによる販売価格の改定

製品別採算を継続的に見直し、販売価格の改定を実施した。

チ．生産性の向上

分散していた製造ラインの集中・集約によるラインの短縮化を実施し、また物流ラインの見直しを実施することにより生産性の向上に努めた。

今後の施策

イ．基本方針

上記に掲げる事業構造転換に向けたインフラ整備の施策を継続するとともに、収益性・成長性を重視した事業の選択と集中による事業構造改革につなげ、長期的・安定的な収益基盤の構築を図るとともに、これを推進する社内体制を整備・確立していく。

ロ．戦略的事業部門別展開

ガス機器事業については、ガス市場がガソリン代替市場と位置付けられるため、原油価格の高騰および環境意識の高まりから、今後も成長性の高い事業分野であると考えている。また、当社はガス燃料噴射機器、燃料電子制御装置等全体システムを供給できるため他社との競争上も優位にある事業分野と考えている。今後は特に新興国市場等において成長性が大きく見込まれるため、アジア市場を中心とした海外NGV（天然ガス自動車）市場において提携も含めた参入を積極的に進めていく。

汎用機器（小型エンジン用気化器）事業については、米国市場（芝刈り機、発電機等）を睨んだ事業であり、当面市場の成長性は低下あるいは鈍化することが予想されるため、採算性を重視した事業展開を実施していく。ただし、中期的に燃料噴射化への動きも予想されるため、燃料噴射化への対応を強化するとともに、子会社の統廃合による生産分担の最適化をすすめコストミニマム化を徹底していく。

自動車機器（主として自動車用気化器）事業については、今後の成長性は見込みにくいため現状の採算性を確保しつつ、製品の統廃合を進めていく。

ハ．更なる収益確保・採算改善

・子会社の統廃合

汎用気化器を生産していた当社連結子会社田島精密工業㈱の生産活動を平成21年9月を目途に終了し、生産品を当社連結子会社瀋陽日新気化器有限公司及び当社本社工場に移転・集約する。これにより製造部門の売上比約3.9%の収益改善を目指していく。

・製品別採算見直し

製品別採算の管理・見直しを更に強化し不採算製品については廃止も含めた整理統合を促進していく。これにより製造部門の売上比約1.6%の収益改善を目指していく。

・設備費用の抑制

当面は選別的な設備投資を実施し、また設備購入金額の引き下げに努め、減価償却費の削減を図る。これにより製造部門の売上比約1.0%の収益改善を目指していく。

・VE/V A活動

購買先、購買方法の見直しによるコストダウンだけでなく、開発・設計段階まで遡ったVE/V A活動を強化し、より一層のコストダウンの徹底を図る。

ニ．品質向上

事業の構造変化に対応した管理項目の見直し、不具合検出力の再点検及び予防措置の徹底を図るとともに、上流である開発・設計段階からの「生産前品質保証活動」を更に強化・徹底していく。

ホ．組織・体制の整備

・収益性を重視した生産分担の最適化及び関係子会社の事業分担の見直しを実施していく。

・事業部門別組織の検討および部署別機能の見直しを進め、効率的な組織と事業別組織力の強化を実現していく。

・新人事制度の早期定着を図り、施策の実現力を担保するとともに、人材の強化・育成を確実に推進していく。

以上の対応・施策を迅速かつ着実に実施し、平成21年5月15日に公表した中期経営計画のとおり平成23年3月期には営業黒字を達成する予定である。

<参考> 中期経営計画の計数目標（連結）

（単位：百万円）

	平成20年度 （実績）	平成21年度 （目標）	平成22年度 （目標）	平成23年度 （目標）
売上高	8,972	7,800	10,100	10,700
営業損益	494	270	280	320
経常損益	437	250	360	400